

## 早稲田大学 人間科学学術院 人間科学会 諸費用補助成果報告書 (Web 公開用)

申請者 (ふりがな)	塩田 皐希 ( しおたさき )
所属・資格 (※学生は課程・学年を記載。卒業生・修了生は卒業・修了年月も記載)	人間科学研究科/修士 1 年
発表年月 または事業開催年月	2023 年 5 月
発表学会・大会 または事業名・開催場所	第 77 回 日本栄養・食糧学会大会
発表者 (※学会発表の場合のみ記載、共同発表者の氏名も記載すること)	塩田 皐希
発表題目 (※学会発表の場合のみ記載)	フラボノイドにより誘導される新たなオートファジー制御機構の解明
発表の概要と成果 (抄録を公開している URL がある場合、「概要・成果」を記載した上で、URL を末尾に記してください。また、抄録 PDF は別途ご提出ください。なお、抄録 PDF は Web 上には公開されません。)	
<p>[発表の概要]</p> <p>本研究では、食品由来の 3 種類のフラボノイドについて、オートファジーの主要な制御シグナルである mTORC1 の関与およびその分子作用機構を解析することを目的とした。研究の結果、3 種のフラボノイドが mTORC1 とは異なるメカニズムによってオートファジーを活性化させることを明らかにした。</p> <p>[成果]</p> <p>カロリー制限などによる mTORC1 依存的な栄養飢餓誘導性のオートファジーは健康リスクを考えると現実的ではない。したがって、本研究で用いたフラボノイドは栄養飢餓シグナルに依存しないオートファジーを誘導する食品成分であることが示唆され、より健康に負荷をかけないオートファジー活性成分として有用であると考えられる。</p>	

※無断転載禁止